

Feel the arts

伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール

Spring 2023

VOL.43

没後四〇〇年記念
特別展

上杉景勝と 関ヶ原合戦

2023

前期 4.22(土) ▶ 5.21(日) 後期 5.27(土) ▶ 6.25(日)

長谷堂合戦図屏風(複製)(部分・左隻4~6扇) 最上義光歴史館蔵



入館
無料
デー

5.5(金)

こどもの日
対象 高校生以下

5.18(木)

国際博物館の日
対象 となたても

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」原本展示
4月22日(土)~5月21日(日)
常設展示室内上杉文華館にて

没後四〇〇年記念
特別展

上杉景勝と関ヶ原合戦

料 金 一般700円(560円) 高大生300円(240円)

小中生 無料 ※()は20名以上の団体料金

※常設展示室と一体型。この料金で全てご覧いただけます。

慶長5年(1600)9月15日に起こった関ヶ原合戦は、日本史上の大きな転換点の一つとなりました。その発端は豊臣政権内での権力強化を目指す徳川家康と、それに反抗した上杉景勝の対立でした。本展では、二人の衝突に至る過程、そして会津にあって奥羽に大きな影響を与えた上杉氏の活動、長谷堂合戦に留まらない奥羽での抗争の広がりを実態などについて紹介します。景勝と対立した最上義光や伊達政宗ら、奥羽の領主の視点も交えていきます。そして、この抗争の結果、景勝は米沢30万石に転封され、明治4年(1871)の廃藩置県まで上杉氏が米沢を城下町とした領主として存続していました。上杉氏と米沢の強い結びつきもまた関ヶ原合戦の結果でした。



【前期】山形市指定文化財 最上義光所用
三十八間総覆輪筋兜(最上義光歴史館)



【後期】上杉景勝所用 唐冠形兜
(宮坂考古館)

前期 4月22日(土)～5月21日(日)
後期 5月27日(土)～6月25日(日)

※休館日:5月24日(水)

5月5日(金祝)こどもの日 高校生以下入館無料!

5月18日(木)国際博物館の日 どなたでも常設展示入館無料!

聴講
無料

◆講演会「豊臣期上杉家と京都・伏見・大坂」

日時:5月20日(土) 14:00～16:00

講師:片桐 昭彦 氏(新潟大学 人文学部 准教授)

会場:伝国の杜 2階大会議室

定員先着120名、4月25日(火)9時～受付開始

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

〔前期展示解説〕4月22日(土)、5月13日(土)

〔後期展示解説〕5月27日(土)、6月24日(土)

いずれも14:00～、企画展示室にて、要入館料

◆主な出品資料

【前期】重要文化財「越後文書宝翰集」(慶長5年)6月10日 上杉景勝書状

(新潟県立歴史博物館)

重要文化財「留守家文書」(慶長5年)9月日晦日 伊達政宗書状(奥州市)

重要文化財 太刀 銘一 号姫鶴一文字 附 黒漆合口打刀拵(当館)

長野県宝「真田家文書」(慶長5年)8月25日 上杉景勝書状(真田宝物館)

山形県指定文化財 浅葱糸威黒緞韋包板物二枚胴具足(宮坂考古館)

秋田実季・最上義光対決之次第(三春町歴史民俗資料館) ほか

【後期】国宝「島津家文書」(慶長4年)4月1日 豊臣氏五大老連署状

(東京大学史料編纂所)

秋田市指定文化財 人色皮包仏胴黒糸威具足(秋田市立佐竹史料館)

新庄市指定文化財 慶長5年 8月20日 最上義光起請文

(新庄ふるさと歴史センター)

「秋田家史料」(慶長5年)10月8日 最上義光書状(東北大学附属図書館)

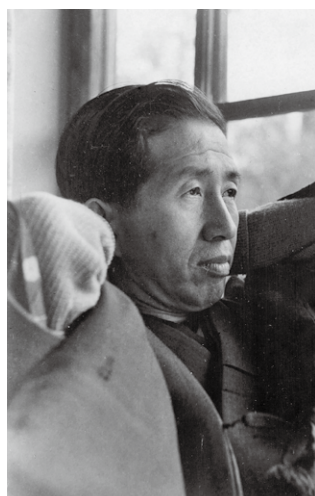
長谷堂合戦図屏風(複製)(最上義光歴史館)

直江状写(当館) ほか

企画展 今泉篤男と美術

会期 7月8日(土)～8月20日(日)

休館日:7月26日(水)



今泉篤男(1950年代)

料 金 一般490円(390円) 高大生340円(270円) 小中生240円(190円) ※()は20名以上の団体

特別協力 東京国立近代美術館

助 成 公益財団法人 花王 芸術・科学財団・公益財団法人朝日新聞文化財団

今泉篤男(1902～1984 米沢市出身)は、戦前から評論活動をスタートし、海外を含めた美術から工芸まで幅広い分野を対象とした美術評論家です。一方で、東京国立近代美術館初代次長、京都国立近代美術館初代館長を務めた美術館人でもありました。国立美術館の仕事のほか、資生堂ギャラリーをはじめとする多くの美術館運営に関わり、評論家としては1950年代に日本の「近代絵画」をめぐる問題提起が「今泉旋風」を巻き起こすなど、今日でも美術界全体に今泉の足跡を見ることが出来ます。

本展では、今泉篤男の多彩な仕事をゆかりの作家の作品を今泉の言葉と共に紹介します。



美術評論を始めた頃

◆講演会「今泉篤男先生と父・福王寺法林の思い出(仮)」

講 師:福王寺一彦氏(日本芸術院会員・日本美術院同人)

日時:7月15日(土) 14:00～ (2階大会議室)

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

7月8日(土) 14:00～、企画展示室にて、要入館料

◆主な出品作品

・ルノワール「赤いブラウスを着た花帽子の女」

(吉野石膏美術振興財団・山形美術館寄託)

・梅原龍三郎「桜島(青)」(東京国立近代美術館)

・岡 鹿之助「鐘楼」(資生堂アートハウス)

・熊谷守一「兎」(天童市美術館)

・浜田庄司「青釉押紋十字掛角皿」(日本民藝館)

・小松 均「最上川源流図」(山形美術館) ほか

特別展 上杉氏と国絵図の世界(仮)

料 金 一般 700円(560円) 高大生 450円(360円)
小中生 300円(240円) ※()は20名以上の団体料金
※常設展示室と一体型。この料金で全てご覧いただけます。

江戸幕府は、諸藩に数度にわたって一国ごとに絵図と土地台帳(郷帳)の作成を命じ、それらの提出を求めました。この政策は江戸幕府による空間的把握を目指したものと評価されています。

また、江戸幕府は諸大名の領知支配を認める領知宛行状をも度々発給しており、将軍を頂点とする全国支配を明示し続けてきたことも注目されます。

本展では、米沢藩領を描いた「国絵図」に注目し、江戸幕府と大名双方から領知を治める意義について追究し、米沢藩上杉家の領知が形作られる過程を紹介します。

◆主な出品予定資料

- 【通期】国宝「上杉家文書」徳川綱吉領知宛行状(当館)
国宝「上杉家文書」徳川綱吉領知目録(当館)
「出羽一国御絵図」(上杉文書・当館) ほか
- 【前期】重要文化財 天保郷帳(国立公文書館)
「柳営日次記」(国立公文書館)
板谷李平山境検分絵図(岩瀬家文書・市立米沢図書館) ほか
- 【後期】岩瀬小右衛門書状(岩瀬家文書・市立米沢図書館)
御国絵図下図(上杉文書・当館) ほか

前期 9月2日(土)～10月1日(日)
後期 10月7日(土)～11月5日(日)
休館日: 9月27日(水)、10月25日(水)

◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

〔前期展示解説〕9月2日(土)、9月16日(土)

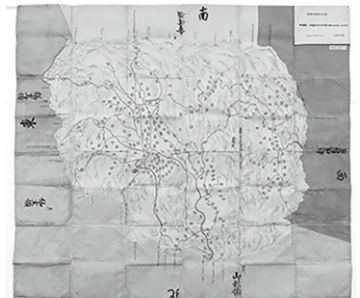
〔後期展示解説〕10月7日(土)、10月21日(土)

いずれも14:00～、企画展示室にて、要入館料

◆講演会 開催予定



【前期】松宮観山「分度余術」
(内閣文庫・国立公文書館)



【後期】元禄国絵図控(上杉文書・当館)



【通期】
「御絵図土用干日割帳」
(岩瀬家文書・市立米沢図書館)



【通期】
徳川家綱領知宛行状
(国宝「上杉家文書」・当館)

常設展示室 上杉文華館 年間テーマ: 上杉家歴代の文書管理と歴史編纂

上杉文華館では、国宝「上杉家文書」を毎月入れ替えながら常時展示しています。上杉家文書は、江戸時代以降に行われた文書の管理や歴史編纂を通じて、中世以来の上杉家の由緒や権威、特定の当主の事績を示す文書が収集・選別され、現在の2,000点余の構成になったと考えられます。別に上杉文書と呼ばれる藩政文書を中心とした一万点弱の史料群があり、米沢市では文化庁の補助を受け調査に取り組んでいます。その中核は文書管理や歴史編纂を担った、江戸時代の御記録方や、近代の上杉家記録編纂所総裁・伊佐早謙の関連文書です。

今年度は上杉文書調査事業の成果を活用して2つの史料群を紐解きながら、江戸時代から近代にかけての文書管理の方法や変遷、歴史編纂の取り組みと藩政の展開をご紹介します。

<スケジュール>

※内容は変更になる場合があります。

- ①3月28日(火)～4月25日(火)「謙信関連文書の収集」 CT:4/2(日)
- ②4月26日(水)～5月23日(火)「景勝をめぐる記録の編纂」 CT:5/14(日)
- ③5月25日(木)～6月27日(火)「定勝と軍事の先例」 CT:6/4(日)
- ④6月29日(木)～7月25日(火)「綱勝から綱憲へ」 CT:7/2(日)
- ⑤7月27日(木)～8月22日(火)「吉憲～宗房と年譜編纂」 CT:8/6(日)
- ⑥8月24日(木)～9月26日(火)「重定と先例」 CT:8/27(日)

コレクショントーク(CT)は各回14時～、要常設展入館料

モールの展示作品 Uesugi Museum Art Collection

*展示作品は都合により変更になる場合があります。

総合案内前では、当館コレクションから郷土作家を中心に作品を入れ替えながら展示しています。ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

■3月28日(火)～5月23日(火)
遠藤桑珠「白い日」2000年



■5月25日(木)～7月25日(火)
福王寺一彦「月映る頃」2000年



■7月27日(木)～9月26日(火)
福王寺法林「ヒマラヤの月」2004年



常設作品
桜井祐一「腰かけた女」
1980年

教育普及事業

Hands & Heart ～手とこころでかんじよう～

PS プレイショップ × 造形

- ・申し込み不要(入室定員15名)※団体は要事前予約。
- ・手指消毒にご協力ください。
- ・休館日は年間カレンダー、HPでご確認ください。



～4/26
キコキコスクラッチ



4/28～5/23
ホログラムシートで宇宙をつくろう



5/26～6/21
紙粘土で夏の和菓子



6/23～7/25
切り絵のステンドグラス



7/28～8/22
マーブリングに挑戦



8/25～9/26
折ってばたばた紙のおりぞめ

子ども学芸員の育成

子ども学芸員の活動は今年で19年目を迎えます。現在5名が博物館の資料整理を中心にバックヤードでコツコツ作業を継続しています。彼らの地道な作業は当館の「文化財総合データベース」にも反映されています。

★今年度の新規メンバーの募集はありません。

R5年度テーマ
資料の整理と保存
～モノとコトを整理するIV～



資料の情報を入力中

出前授業、学校連携の事例などはホームページに掲載しています。お気軽にご相談ください。
お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)
E-mail: welcome@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp

WS 募集制 ワークショップ

●要事前申込 ※参加費:各500円

造形
あそび

色とあそぼう



大画面に絵の具をたらし遊んでみよう。

5月28日(日)10:00～11:30
定員 未就学児10名
4/26(水)～受付

発見

初夏のカラーハンティング

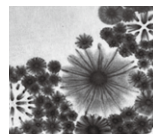


色をつかまえて季節のカラーチャートづくり。

6月11日(日)13:30～16:00
定員 小学生以上15名
5/10(水)～受付

制作

墨染の美 ～不思議な墨の世界



美しく楽しい墨の世界へご案内します。

6月25日(日)13:30～15:30
定員 小学生以上15名
5/24(水)～受付

鑑賞

ナイトツアー 「今泉篤男と美術」を見る



夜の博物館で企画展をじっくり鑑賞します。

7月28日(金)19:00～20:30
定員 どなたでも20名
(中学生以下は保護者同伴)
6/28(水)～受付

染色

植物で布を そめよう



藍染めに挑戦してみます。

7月22日(土)13:30～15:30
定員 小学生以上15名
6/21(水)～受付

染色

紅花でそめる 花の色の不思議と歴史



紅花を見て知って染めてみましょう。

8月6日(日)13:30～16:30
定員 小学生以上15名
7/5(水)～受付



自由参加型ワークショップ

●申込不要・参加無料

むかしむかしをきこう

語り: 米沢とんと昔の会

あたたかい方言の語りで昔語りを聞いてみませんか?

7月23日(日)
①10:30～②13:00～



体験学習室北側ピロティ
(荒天時体験学習室)

収蔵品

学芸ノートから

うえすぎかげかつしゅいんじょう

上杉景勝朱印状

(2021年度新収蔵品)

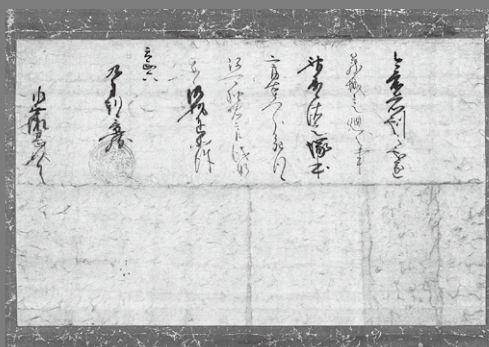
天正6年(1578)に起きた上杉景勝と上杉景虎が、上杉家の当主の座をめぐる御館の乱に関する史料です。景勝側で戦功をあげた水無瀬甚介に対して、恩賞として敵方の所領を与えたことが記されています。

御館の乱において、景勝発給による同内容の感状は33通が知られていますが、そのほとんどが江戸時代に作成された『景勝公御書』等の写しで残されたものでした。本史料もこれまでは写しでその存在が知られていましたが、今回の寄贈を受けて、この原本の存在が確認されました。また、本史料とは別に、小黒義次に宛てた同内容の原本が最近になって当館へ寄贈されました。これにより、御館の乱時の感状の原文書は合わせて6通を数えることとなりました。

景勝の署名の下に捺された朱印は、重要文化財「長尾上杉氏印章」(個人蔵)のうち「上突部鏧型朱円印(摩利支天、月天子、勝軍地藏)」に該当し、上杉謙信・景勝が使用した印章です。

今年は、上杉景勝没後400年の節目の年にあたります。当館では、特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」を開催します(詳細は2ページ参照)。本展覧会を通して、米沢と上杉家の歴史を振り返る機会となれば幸いです。

天正6年(1578)9月1日 26.0×42.4cm



ミュージアムショップ

新商品！春の特別展関連商品

特別展「上杉景勝と関ヶ原合戦」に合わせて、新たに「直江状写」の長さを活かしたマスキングテープを現在開発中。書状が印刷されたマスキングテープは珍しく、「直江状写」全体を楽しめる、ファンにはたまらない一品です！また、特別展公式図録も販売予定です。この春、ご来館の際はミュージアムショップを覗いてみてはいかがでしょうか。当館SNSでも情報を随時更新していくので、ぜひチェックしてください！



※画像はイメージです
直江状写
マスキングテープ660円(税込)

3年ぶりに雪灯籠を製作

米沢では、四季折々の祭りが開催されます。2023年2月11日、12日には「第46回上杉雪灯籠まつり」が開催されました。職員による雪灯籠製作は、ベテラン職員と新人職員が協力し合い、3年ぶりと思えない傑作が完成しました。

米沢で、雪灯籠まつり以外にも、四季のお祭りが開催されます。お祭りついでにぜひ伝国の杜にもお立ち寄りいただけますと幸いです。



雪灯籠製作の様子

伝国の杜ファンクラブ 令和5年度の入会は《春》がお得！

年会費 一般会員2,500円/学生会員1,000円/ジュニア会員500円

会員期間 4月1日～翌年の3月31日まで

会員特典 会員証をご提示ください。



常設展・企画展が会員
期間中何度でも無料
(同伴者1名は団体割引)



ホール自主事業の
先行予約・料金割引
(1事業4枚まで)



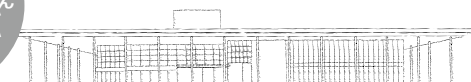
伝国の杜だより・会報、
チラシ等の送付
(年7回程度)

ほかにも特典いろいろ

- ・上杉博物館 募集制ワークショップに1回無料で参加
- ・ミュージアムショップ 展覧会図録・オリジナル商品10%割引(一部商品のぞく)
- ・ミュージアムカフェ「Culture」全メニュー10%割引(同伴者3名まで)
- ・提携施設での割引(上杉城史苑カフェ「ル・シエル」、上杉伯爵邸「和庭」)

お得に
楽しむ
気軽に
情報を
深く
知る
たくさん
学ぶ
いちば

ファンクラブ担当
問合せ:0238-26-8000



イベント



令和4年度事業
特別展「上杉家伝来写真」
をもっと深める特別講座

年2回程度、伝国の杜
ファンクラブ会員限定の
事業を通して会員間や職
員等と交流しています。

令和元年度事業
デジタルマップと楽しむ
まちあるき



伝国の杜サポーター

活動報告

コロナ禍で広報物の発送や掲示、図書整理など、活動を限定していましたが、昨年後半から徐々に活動分野を広げました。



置賜文化ホール自主事業では、レセプションスタッフがもぎりや客席のドア係などを務めていただき、お客様がコンサートを楽しめるようサポートをしていただきました。

新年度伝国の杜 サポーターを 募集しています！

伝国の杜の事業の根元を支えるボランティアです。現在、広報物の発送やホールのレセプションなど、6つの分野で登録受付しています。

市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーからのお知らせ
米沢市中央1丁目10-6 TEL 図書館:0238-26-3010/ギャラリー:0238-22-6400

市民ギャラリー自主事業

※コロナ感染拡大状況に応じて変更になる場合もあります。いずれも入場無料です。

◆4月15日(土)～4月28日(金)

「福王寺一彦 高野山金剛峯寺襖絵第1回奉納記念展—いのりのとき—」
襖絵のお披露目と、ARTS MEET OKITAMA 若手アーティスト奨励賞受賞作家や米沢市芸術文化協会会員など現在活躍中作家の作品展です。

◆8月11日(金祝)～9月3日(日)

「植物学者 清水大典展—冬虫夏草と山をめぐる冒険—」

◆オープンギャラリー

4月28日(金)～7月26日(水)

上杉博物館アートコレクション

「木地の力 栗林一雪の創作にけし」

7月28日(金)～10月25日(水)

上杉博物館アートコレクション

「アートするところ 後藤克芳のN.Y.」

ナセBA

市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

◆読書通帳のご案内

借りた本の名前を銀行の通帳のように記録する「読書通帳」を、置賜地域の高校生までの皆さんと、市内の高校に通学する生徒を対象に無償で配布しています。

自分の読書記録として作成しませんか。



座の文化伝承館

米沢市丸の内1-3-48 TEL 0238-23-8009

自主事業 協力:米沢茶道連合会

第31回市民茶会

6月18日(日)10時開始

5月8日(月)から伝国の杜で予約を受付けます。当日は、予約のある方が優先となります。

和室で抹茶と菓子でお客をおもてなしする「茶道」を、より身近に感じられるよう茶道教授者が丁寧に解説してくれます。

お子様連れの方も、初心者の方も、気軽に体験してみてください。

展示事業

触って楽しむ
国絵図の世界(仮題)

入場
無料

9月13日(水)～9月25日(月)
休館日:9月19日(火)

米沢市上杉博物館の特別展「上杉氏と国絵図の世界」(仮)にあわせ、国絵図などの複製(印刷物)を触る、またはじっくりと細部まで閲覧できる形で展示します。

置賜文化ホール開催事業ラインナップ

劇場でお客様をお待ちしています ※ファンクラブ先行受付

5/ 4 (木・祝)	[金剛流さくらに舞う会]
6/27 (火)	[ミュージカル いつだって青空]*
7/29 (土)	[劇場版 まんが日本昔ばなし]*
9/ 3 (日)	[PRO WiND 023 アンサンブル]*
9/10 (日)	[能楽の祭典]
9/30 (土)	[宝くじ文化公演 吉田正記念オーケストラ]
10/ 8 (日)	[吹奏楽の日コンサート2023]
10/28 (土)	[古楽 シェイクスピアの春夏秋冬]*
1/ 8 (月祝)	[山響ニューイヤーコンサート]*
3/ 3 (日)	[東儀秀樹コンサート(仮)]*
11月予定	[落語公演]*
12月予定	[避難訓練公演(仮)]
3月予定	[能楽公演]*
3月予定	[春休み狂言会]

舞台芸術活動の参加者を募集します

4月スタート	[こども狂言クラブ稽古会]
5月スタート	[アマチュア楽器クリニック]

イベント託児サービス

～観たい公演あきらめないでいいんです～

チケットと一緒に
お申込みください

電話予約

Tel.0238 (26) 2666

公演当日

お子様と一緒に
直接 託児会場へ

利用料金(当日払)
生後6か月から小
学校入学前の乳
幼児一人につき
1,000円。

ticket プレイガイド

～お好きな公演のチケットお取りします～

受付時間
開館日の9:00～17:00

電話予約

Tel.0238 (26) 2666

窓口受取

事務室で代金支払
(予約後2週間以内)



窓口申込

事務室で代金支払
と同時に受取り

郵便振込

予約後2週間以内
(自主事業のみ)

チケット郵送

送料無料でご自宅へ
(自主事業のみ)

- ・記載内容が変更となる場合がありますのでホームページ等でご確認ください。
- ・他所やインターネットで販売する場合があります。
- ・ホールでは自主事業以外の公演チケットの販売を行っています。

6/27(火) 18:30開演

ミュージカル「いつだって青空～ブルマー先生の夢～」

主催：(一社)わらび座

あなたの頑張り
誰かの希望になる



スポーツの楽しさを伝えるため、バスケット・肋木・ダンスなどを海の向こうから運んできた「日本女子体育の母」井口阿くり。日本のオリンピック参加、女子選手の参加を夢見るなか、ロシアと開戦が近づき試練が続く…。笑顔を忘れない阿くり先生の奮闘を描いた本作を通して、観客の心にもきっと澄み切った青空が広がります！

入場料

全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円 (当日各500円増)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売日

一般発売日：4/20(木)

伝国の杜FC会員先行予約期間：4/17(月)～19(水)

Always Blue Sky



7/29(土) 15:00開演

劇場版「まんが日本昔ばなし」 おはなしっていいなあ

にっぽん むかし



語り：藤田 弓子(女優)

『まんが日本昔ばなし』は、1975年～1994年までテレビアニメとして放送され、市原悦子、常田富士男の語りが独自の世界観を生み出し、子どものみならず大人にも人気を博しました。

劇場版は、テレビ版の“ほのぼの”としたアニメーションを、劇団汎マイム工房のパントマイムによる「人間影絵・影アニメーション」で再現し、さらに女優・藤田弓子の語りが彩ります。



昔ばなし 3話

「一寸法師」
「へこき嫁さま」
「山伏とたぬき」

パントマイムの影を大きなスクリーンに映写する《人間影絵》

入場料

全席指定 一般 3,000円 学生 1,000円 親子券 3,500円
(当日各500円増)

※4歳から大学生まで学生料金で
入場できます。

発売日

一般発売日：5/18(木)

伝国の杜FC会員先行予約期間：5/10(水)～14(日)

空気浮上方式
うごくのうぶたい
可動能舞台が自慢です！

多目的ホールは
能楽堂の表情へ

走行 23.5m

旋回 90度

浮上 数センチ

最近の催事から

能工脚絆

狂言秋大名

能「石橋」

こども狂言「盆山」

5才になったら！ 「こども狂言クラブ」で週末おけいこしませんか？

講師の先生：
和泉流の狂言師が
毎月1回直接指導



野村拳之介先生 河野佑紀先生

申し込み：
お稽古中の万が一のケガに備えての保険手続きや
能舞台を歩くための白足袋、白扇などの道具を揃
えたら、次のお稽古から体験参加もできます。
いつでもお気軽にご相談、参加申込用紙のご提出を。

着物や浴衣を着つけてもらって
稽古に励む子どもたちの姿を
偶然訪れたお客様も見守ります。



多くの謡曲団体が会員を募集中。
能舞台での稽古は身が引き締まる！
と毎月通っている団体もあります。

能舞台から発信
SNSやってます

こども狂言クラブ
Instagram



2023春スタート

伝国の杜



「うごく能舞台」

置賜文化ホール
Twitter



@okitama_hall

9/30(土) 14:00開演

宝くじ文化公演

「元気になる！オーケストラコンサート」吉田正記念オーケストラ

クラシックではございません！

国民栄誉賞受賞の作曲家・吉田正の名を冠したオーケストラが「クラシックではございません！」のコトワリ書きをつけたコンサートを開催。「潮来笠／夜霧の第二国道／東京ナイト・クラブ／東京午前三時／子連れ狼／異国の丘」といった吉田メロディや、世界のムード音楽「80日間世界一周／シェルブールの雨傘」などの名曲を演奏します。

人気のヒケツ指揮者・大沢可直のウィットに富んだ進行で、石原裕次郎主演映画やフォークダンスの音楽など懐かしい楽曲の数々を同窓会気分でお楽しみいただき心を元気に！



入場料

全席指定 一般 1,500円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)
宝くじの助成により特別料金となっています。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売日

一般発売日：6/15(木) 主催：米沢市、自治総合センター他

10/28(土) 14:00開演

古楽器アンサンブル「シェイクスピアの春夏秋冬」

シェイクスピア音楽を通していま自分に問いかける *What is LIFE?*

本場・ヨーロッパと日本の両方で活躍を続ける気鋭の古楽器アンサンブルが、5年ぶりに再登場。今回は、英国の劇作家 W. シェイクスピアの劇中音楽を、春夏秋冬の移ろいになぞらえ芝居仕立てとした独創的なアイディアのプログラム。

人生とは何なのか…？この大きな問いかけに対して、シェイクスピア音楽は、私たちの心に何を残すのか。英国ブリタニア音楽の父といわれる W. バードが 1611 年に作曲した伝承曲「What is Life?」(人生とは何なのか)をはじめ、人間の生涯を音楽で考えます。

楽器編成：リコーダー、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロ、オルガン
出演者：「レ・タンブル」…国際古楽コンクール優勝経験を持ち主にフランスで活動。
「ハルモニア・レニス」…日本を拠点とする水内謙一と村上暁美のユニット。

入場料

全席指定 一般 2,000円 学生 1,000円 (当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

発売日

一般発売日：7/13(木)
伝国の杜FC会員先行予約期間：7/5(水)～9(日)

レ・タンブル &
ハルモニア・レニス



展覧会			教育普及事業	ホール
4 5 6 7 8 9	企画展示室 特別展 上杉景勝と関ヶ原合戦 前期 4/22(土) 4月22日(土)、5月13日(土) 各回14:00～、要入館料 5/21(日) 5/5(金)こどもの日 博物館高校生以下 無料入館日 5/18(木) 国際博物館の日 どなたでも 常設展無料入館日 休館日 5/24 後期 5/27(土) 5月27日(土)、6月24日(土) 各回14:00～、要入館料 6/25(日)		募集制ワークショップ (要事前申込・有料) 自由参加制ワークショップ (申込不要・無料)	こども狂言クラブは 一年を通して活動があり いつでも新規参加者を 募集しています。
	常設展示室 上杉文華館 年間テーマ 上杉家歴代の文書管理と歴史編纂 3月28日(火)～ 4月25日(火) 謙信関連文書の収集 4月2日(日) 4/22(土)～5/21(日) 国宝上杉本洛中洛外図屏風 原本展示 4月26日(水)～ 5月23日(火) 景勝をめぐる記録の編纂 5月14日(日) 5月25日(木)～ 6月27日(火) 定勝と軍事の先例 6月4日(日) 6月29日(木)～ 7月25日(火) 綱勝から綱憲へ 7月2日(日) 7月27日(木)～ 8月22日(火) 吉憲～宗房と年譜編纂 8月6日(日) 8月24日(木)～ 9月26日(火) 重定と先例 8月27日(日)		5月28日(日) 10:00～11:30 色とあそぼう! 6月11日(日) 13:30～16:00 初夏のカラーハンティング 6月25日(日) 13:30～16:00 墨染の美～不思議な墨の世界～ 7月22日(土) 13:30～15:30 植物で布を染めよう 7月23日(日) ①10:30～、②13:00～ むかしむかしをきこう 語り:米沢とんと昔の会 7月28日(金) 19:00～20:30 ナイトツアーようこそ夜の博物館へ 「今泉篤と美術」を見る 8月6日(日) 13:30～16:30 紅花で染める	5月4日(木・祝) 上杉まつり 「金剛流さくらに舞う会」 6月27日(火) ミュージカル 「いつだって青空 ～ブルマー先生の夢～」 7月29日(土) 劇場版 「まんが日本昔ばなし」 9月3日(日) PRO WIND 023 アンサンブル 9月10日(日) 能楽の祭典 9月30日(土) 宝くじ文化公演 「吉田正記念オーケストラ」
	企画展 今泉篤男と美術 7/8(土) 7月8日(土) 14:00～ 要入館料 8/20(日) 7月15日(土) 14:00～ 福王寺一彦氏 「今泉篤男先生と 父・福王寺法林の思い出(仮)」 伝国の杜2階大会議室 定員:先着120名 聴講無料			
	特別展 上杉氏と国絵図の世界(仮) 前期:9月2日(土)～10月1日(日) 後期:10月7日(土)～11月5日(日) 9/2(土) 9月2日(土)、9月16日(土) 各回14:00～、要入館料 11/5(日)			

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 室町時代 狩野永徳筆

とり さし
鳥 刺 (左隻5扇)

とりもち
鳥 刺をつけた竹竿で木にとまる鳥を捕まえようとしています。鳥刺という職人です。傍らには鳥かごを持った女性があります。

日本列島に住む人々は、50年くらい前まではいろいろな鳥を食べていました。中世もまた同様で、ガンやカモ、キジ、ウズラやスズメなどが食膳にあがっていたようです。「上杉本洛中洛外図屏風」には、同じように鳥を狙う鳥刺が左隻2扇に、また竹竿と鳥かごを持った鳥刺が右隻6扇や左隻2扇に描かれています。戦国時代には鳥刺を使った猟が盛んであったと考えられており、上杉本はそれを描き出しているといえます。



◆利用案内◆

*休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
 0238-26-8000(代(公財)米沢上杉文化振興財団)
 0238-26-2660(FAX)
 0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
 0238-26-2666(置賜文化ホール)
 ホームページ <https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
 ブログ <http://samidare.jp/denkoku>
 (公財)米沢上杉文化振興財団ホームページ
<http://uesugizaidan.or.jp/>



博物館開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)
 博物館休館日: 5月-11月 第4水曜日(休日の場合はその直後の平日)
 12月- 3月 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日)
 年末年始(今年度は12/27～1/1)
 ※年始 1/2～1/3は休まず開館予定。
 ホール休館日: 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日)・年末年始
 博物館入館料: 常設展 一般410(330) 高大生210(150)
 小中生110(60) ※()は20名以上の団体料金
 ※特別展・企画展は別途
 ※常設・企画一体型の期間は料金が異なります。